

年号：1963 年

月日：8 月 16 日～18 日

災害名：新燃岳噴火の概要

### 新燃岳位置図



出典：国土地理院

### 【1959 (昭和 34) 年新燃岳噴火の概要】

- ・ 1959 年 2 月 17 日 午後 2 時 50 分ごろ、宮崎・鹿児島両県境の霧島山系新燃岳(1,421m)の旧水口淵が突然ごう音とともに爆発、鳴動を伴いながら 2,000m 上空まで黒煙を噴き上げた。
- ・ 登山道は噴石で埋まり、周辺の市町村は硫黄のにおいが立ち込め降灰で昼間も薄暗く、折からの小雨で道路はドロドロとなるなどの大きな被害をもたらした。
- ・ 宮崎県高原町資料によると、新燃岳噴火による被害額は約 9,500 万円であり、様々な応急措置が施されている。

# 霧島国立公園

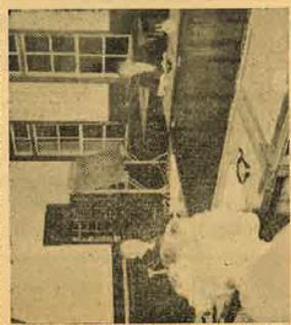
## 新燃岳爆発

### 御鉢噴火以来四十五年振り

予想だにしまかつた霧島新燃岳の爆発は、霧島爆発を、御鉢の火事、位に考えていた我々にとつて、意天のへきれきであつた。

爆発した新燃岳のヨナは折から

の陣風をとまなつた南西の風にあふられて町内の割入割に降り降り、農作物に付着し道路は泥土と化し、其他各地に多大の被害をあたえた。



現地調査に乗出す

### 県対策本部設置

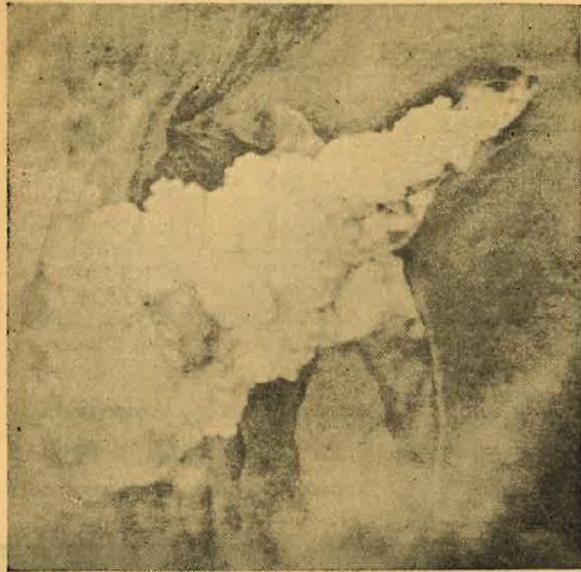
#### 二見知事被害状況聴取のため来町

県は新燃岳爆発の翌十八日、対策本部を企画調査室内に設置し、小崎主幹、佐藤義務課長外二十数名が十八日十時来町、被害調査及び今後の対策の方法につき

調査を開始した。なお同日午後六時には、二見知事も来町、郡内各出先機関、町内各関係者より被害状況の聴取を行つた。

### 高原町野村

昭和三十四年、原町議会議長、名譽町民糸原、野村久助氏を二月二十一日、は病床の野村氏、警町民証書の贈した。



# たか は る

発行所  
宮崎県西諸県郡高原町  
高 原 町 副 所  
宮崎県西諸県郡高原町  
長 崎 市 副 所



### 被害額 約九千五百万円

裸麦	五割	一七、三五五、〇〇〇円
小麦	四割	五、〇三〇、〇〇〇円
ななね	五割	一七、八九四、〇〇〇円
そさい	五割	八、七四八、〇〇〇円
飼料作物	五割	七、八四八、〇〇〇円
茶	六割	五、九二五、〇〇〇円
林業(杉、松、その他)		三六〇、〇〇〇円
瓦葺(杉、松、その他)		二七、六八五、〇〇〇円
四ノ丸(野村)		一、三三八、〇〇〇円

雄茸	一八七キログラム
竹材	二〇〇、〇〇〇円
七〇束	一四〇、〇〇〇円
穀粉関係(豊後、豊前、平)	二六五〇、〇〇〇円
牛乳	二九七、〇〇〇円
被害総額	九四、九〇〇、〇〇〇円
	(二月二十二日現在)

あぜやきは二月十日より

▲1959(昭和34)年新燃岳噴火の被害額の概要

出典：広報たかはる(高原町提供)

